

<ちょこっとコラム④③>

(教会歴 その⑪)

「諸魂日」 *All Souls' Day*

11月1日の主要祝日「諸聖徒日」に続き、翌日の2日は小祝日「諸魂日」として定められています。諸聖徒日とその名の通り聖人を覚える日であったのに対し、10世紀頃から、その翌日に、天に召された一般信徒を記念する礼拝が守られるようになったのです。ところが、16世紀のイングランド宗教改革によって聖人崇拜が廃止され、「諸聖徒日」はすべて信仰をもって世を去った人々の記念日と解釈されるようになり、同時に「諸魂日」は消えました。しかし、またその後、「諸聖徒日」がすべての殉教者を覚える日として回復したため、あらためてその日とは別に「諸魂日」が守られるようになり、日本聖公会でも1959年祈祷書から小祝日として回復しています。(カトリックでは「死者の日」)